

# がん新薬開発の新しい潮流

世界をリードする  
医療イノベーション実現に向けて

- 主催
    - 厚生労働省
    - がん研究開発費
    - 文部科学省科学研究費
  - 後援
    - 抗悪性腫瘍薬開発フォーラム
- 「早期・探索的臨床試験拠点整備事業」  
「がん治療の早期開発試験およびその研究体制確立に関する研究」班  
「がん支援・化学療法基盤支援活動」班

■ 日時

平成25(2013)年  
11月29日 金 9:00-16:30

■ 会場

ステーションコンファレンス東京  
5F 501ABS (サピアホール)  
<http://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

● 参加申し込み

抗悪性腫瘍薬開発フォーラム  
ホームページにて 10月上旬より受付  
<http://atdd-frm.umin.jp/>

● 定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■ プログラム

司会：  
大津 敦 国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター長  
矢守 隆夫 医薬品医療機器総合機構 審査センター長

■ 開会の言葉 大津 敦

第 1 部 先端的開発試験を実施するためのシステム構築 (9:05-11:50)

- 1 日本版NIHの目指すもの  
国立がん研究センター 理事長 堀田 知光
- 2 わが国でのFIH試験の実施体制は整備されたか？  
- 1 アカデミアの立場から  
国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター 土井 俊彦  
- 2 企業の立場から  
日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 / アステラス製薬株式会社 稲垣 治
- 3 アカデミックリサーチオーガニゼーション体制整備の現状と課題  
先端医療振興財団 臨床研究情報センター 福島 雅典
- 4 研究者主導未承認薬開発試験の実施および規制上の諸問題  
- 1 アカデミアの立場から  
国立がん研究センター 早期・探索臨床研究センター 佐藤 暁洋  
- 2 規制当局の立場から  
厚生労働省 医薬食品局 審査管理課 益山 光一

第 2 部 がん治療薬開発のパラダイムシフト (13:10-16:25)

- 1 国際がんゲノムコンソーシアムでのゲノム解析の成果と今後の方向性  
国立がん研究センター研究所 柴田 龍弘
- 2 希少フラクションスクリーニング体制の構築と開発試験  
国立がん研究センター東病院 後藤 功一
- 3 企業側からみた希少フラクションスクリーニングに関する考え方  
ノバルティス ファーマ株式会社 都賀 稚香
- 4 がん幹細胞を標的とした治療薬開発の現状と課題  
慶應義塾大学 先端医学研究所 佐谷 秀行
- 5 Immunomodulating agentsの開発：現状と我が国での課題  
愛知医科大学 上田 龍三
- 6 がん細胞の代謝を標的とした薬剤開発  
東京理科大学 生命医学研究所 江角 浩安
- 7 厚生労働省での開発促進への取り組み  
厚生労働省 医政局 研究開発振興課 本間 政人

■ 閉会の言葉 矢守 隆夫

\* タイトル・内容・時間は一部変更になる場合があります。  
最新のプログラムは抗悪性腫瘍薬開発フォーラムホームページをご覧ください。